

市長コラム

和歌の聖地・和歌の浦誕生 1300 年

奈良時代、弱浜（わかのはま）と呼ばれた和歌の浦には紀の川が流れ込み、724年に万葉歌人らを伴ってこの地を訪れた聖武天皇が、そのあまりの美しさを讃え、明光浦（あかのうら）と名付け、山部赤人が「若の浦に 潮満ちくれば 瀉を無み 葦辺を指して 鶴鳴き渡る」と詠み、以来この地は和歌の聖地・和歌の浦となりました。

今年はその歴史が始まって1300年に当たることから、10月5日から11月24日まで和歌の聖地・和歌の浦誕生を祝う千三百年記念行事が開催されます。

和歌の浦の景観や文化は、これまで多くの人の手で守られ育まれてきましたが、この記念行事も和歌の浦

が好きで好きでたまらない地元をはじめ多くの方々の熱意と力で開かれます。何度も何度も打ち合わせ、協賛をもらうため奔走され、懸命に準備された方々がおられなければ、実現できませんでした。特に10月27日には、和歌の聖地となった奈良時代から始まり、平安、江戸、そして現在から未来へと続く時代絵巻行列が行われ、圧巻です。まさに、和歌の浦の地は、1300年という悠久の時間の中で和歌をはじめ、日本の多くの文化が集積されているのを感じて頂けると思います。

9月29日には、和歌浦周遊の拠点となる「あしべ庵」もオープンし、より和歌の浦を楽しみやすくなります。

この秋は「和歌の聖地」へ足を運ばれ、和歌の文化を体感していただければ幸いです。

和歌山市長 尾花 正啓



発行/和歌山市広報課 〒640-8511 和歌山市七番丁23
☎073-432-0001 (代表) ホームページ https://www.city.wakayama.wakayama.jp/

れいわ ねん がつかいこう わかやましりつやかんちゅうがく まな 令和7年4月開校 和歌山市立夜間中学で学んでみませんか

場所 むそた ばんち (和歌山市立和歌山高等学校内)
六十谷 45 番地

対象 れいわ ねん (2025年) 4月1日に15歳以上のひと
・日本や自分の国で小学校や中学校を卒業していない人や、十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人
※詳しくは募集要項をご覧ください。

申請 れいわ ねん がつ にちまに (和歌山市役所 11 階) に提出
令和6年11月29日
(募集要項・申請書などは、和歌山市役所1階総合案内所前、11階教育委員会学校支援課、各コミュニティセンター、各文化会館、各福祉館に設置。市HP (ID:1056141) からダウンロードできます。)

問合せ先 わかやましきょういんかい がっこうしえんか
和歌山市教育委員会 学校支援課 ☎435-1139 (土、日、祝日は除く)



市HP

和歌山市民憲章 (昭和41年11月3日制定)

自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
仕事に誇りを持ち、たくましい市民になりましょう。
教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

今月の題字、私が制作しました



市立和歌山高等学校
デザイン表現科2年
岩根 羽奏 さん

全体的に少しでもハロウィーンに寄せるためにラスト・色合いはすごく工夫しました。

広告 市財政収入の一部に寄与することを目的とし、一般の広告を掲載しています。広告主・広告内容は、市が推奨するものではありません。

市財政収入の一部に寄与することを目的とし、一般の広告を掲載しています。



人口 / 353,891人 (男 167,507人 女 186,384人) 世帯数 / 177,127世帯
※住民基本台帳を基準とした9月1日現在の人口および世帯数